

2022年10月11日

報道機関 各位

RECNA/PCU-NC 創立 10 周年記念特別講演会 第 1 回「核なき世界への新たな挑戦：長崎からの発信」について

核兵器廃絶長崎連絡協議会（PCU-NC）と長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）の創立 10 周年にあたり、記念特別講演会の第 1 回を 10 月 29 日（土）に開催いたします。本講演会では、ロシアのウクライナ侵攻による核リスクの高まりの中、核をめぐる国際情勢の現状と課題、そして核兵器のない世界に向けて被爆地としての果たすべき役割を考えます。核兵器禁止条約の採択に貢献された駐日ジャマイカ大使のショーナ・ケイ・リチャーズ大使の基調講演、並びに広島・長崎の専門家を交えたパネル討論を行います。詳細は別添チラシをご参照ください。

つきましては、本講演会の内容について、ブリーフィングする場を下記の通り開催いたします。ご多忙中誠に恐れ入りますが、ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

■日時：2022年10月14日（金）16：00より（1時間程度）

■場所：長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）1階会議室

■出席者：

調 漸	PCU-NC 会長（10 周年記念事業実行委員長）
吉田 文彦	RECNA センター長
鈴木 達治郎	RECNA 副センター長、教授
中村 桂子	RECNA 准教授

【本リリースに関するお問い合わせ先】

核兵器廃絶長崎連絡協議会

TEL 095-819-2252 E-mail pcu_nc@ml.nagasaki-u.ac.jp

核なき世界への新たな挑戦 —長崎からの発信—

New Challenges for a World Free of Nuclear Weapons --- Message from Nagasaki ---

ロシアのウクライナ軍事侵攻による核リスクの高まりは、世界の分断と亀裂を一層深めている。世界が向かうのは、核抑止強化に進む道か、あるいは核軍縮と廃絶に進む道か。本講演会では、核兵器禁止条約の採択に貢献した駐日ジャマイカ大使のショーナーケイ・リチャーズ氏、さらには広島、長崎の専門家らとともに、核をめぐる世界の現状と課題、そして被爆地の果たすべき役割について考える。

同時通訳付
入場無料
事前申込不要
オンライン参加は要申込

2022
10/29 土

13:30~16:00 (開場 13:00)
長崎原爆資料館ホール

第一部 基調講演 ショーナーケイ・リチャーズ氏 (駐日ジャマイカ大使)

「長崎の新たな市民外交に向けて」

私は2005年に国連軍縮フェローとして長崎を訪問しました。外交官としての長年の経験に基づき、市民外交の価値、とりわけ外交において若者が果たすべき重要な役割についてお話ししたいと思います。

H.E. Ms. Shona-kay M. Richards (Jamaican Ambassador to Japan)
"Renewing Nagasaki's Citizen Diplomacy"

第二部 パネルディスカッション

「核なき世界に向けた長崎の役割」

- パネリスト / 朝長 万左男 (核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員長)
宮崎 園子 (広島在住ジャーナリスト)
中村 楓 (ナガサキ・ユース代表団第8・9期生)
ショーナーケイ・リチャーズ
- モデレーター / 中村 桂子 (RECNA准教授)
- 総合司会 / 前田 真里 (Peace by Peace NAGASAKI代表)



朝長 万左男



宮崎 園子



中村 楓



中村 桂子

主催 核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)
長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

お問い合わせ 核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)
TEL:095-819-2252
Email:pcu_nc@ml.nagasaki-u.ac.jp
ホームページ <https://www.pcu-nc.jp/>

オンライン配信も
行います!

参加希望者は
QRコードから
お申込みください。



(オンライン視聴申込締切:10月27日 午後5時)

核兵器廃絶
長崎連絡協議会
PCU-Nagasaki Council

RECNA
長崎大学核兵器廃絶研究センター

核なき世界への新たな挑戦 —長崎からの発信—

プロフィール

ショナー・ケイ・リチャーズ（駐日ジャマイカ大使） Shorna-Kay M. RICHARDS

米国、南アフリカ、国連代表部での勤務、二国間関係局長等を歴任し、2020年10月から駐日特命全権大使を務める。国連軍縮委員会副議長、武器貿易条約交渉ファシリテーターを歴任するなど国際安全保障・軍縮の分野で多くの経験を有し、核兵器禁止条約の採択に至る交渉プロセスにおいても中心的な役割を担った。



朝長 万左男

(核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員長)

RECNA客員教授。元日本赤十字社長崎原爆病院院長。

1943年長崎市生まれ。2歳のときに、母親とともに爆心地から2.7kmの距離で被爆。

長崎大医学部卒、同大で40年間血液内科医として被爆者医療および白血病の研究にあたる。

宮崎 園子

(広島在住ジャーナリスト)

1977年、広島県生まれ。東京、香港、米国など一貫して広島の外で育つ。慶応大卒業後、金融機関勤務を経て2002年、朝日新聞社入社。神戸、大阪、広島で勤務後、2021年退社。小学生の子ども2人を育てながら、広島を拠点に取材・執筆を続ける。7月に著書『「個」のひろしま 被爆者 岡田恵美子の生涯』を上梓。

中村 楓

(ナガサキ・ユース代表団第8・9期生)

長崎大学多文化社会学部4年。岡山県出身。2021年、2022年に長崎市平和宣言文起草委員を務める。大学3年生の頃に約4カ月、英国のオックスフォード・ブルックス大学に留学し、海外の人々の核兵器に対する考え方を学んだ。大学では、核兵器を国際条約においてどのように廃絶していくのかを研究している。

プログラム

開会あいさつ…………… 河野 茂 (長崎大学学長)

あいさつ…………… 大石 賢吾 (長崎県知事)、田上 富久 (長崎市長)

第一部 基調講演

ショナー・ケイ・リチャーズ (駐日ジャマイカ大使)

「長崎の新たな市民外交に向けて」

第二部 パネルディスカッション

パネリスト：朝長 万左男 (核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員長)

宮崎 園子 (広島在住ジャーナリスト)

中村 楓 (ナガサキ・ユース代表団第8・9期生)

ショナー・ケイ・リチャーズ

モデレーター：中村 桂子 (RECNA准教授)

開会あいさつ…………… 調 漸 (PCU-NC会長、長崎大学特命教授)

総司会：前田 真里
(Peace by Peace NAGASAKI代表)次回
予告

PCU-NC・RECNA創設10周年記念特別講演会 第2弾

「核なき世界の想像／創造(仮)」

日時：2023年1月21日(土)13:30~15:30

会場：長崎平和会館ホール、及びオンライン配信

講演者：平野 啓一郎 (芥川賞作家)

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、イベントの開催内容を変更させていただく場合があります。
ご来場前にホームページにてご確認ください。